

2022.11.2 芝生の様子



2022.10.9 芝生の様子



中央あたりの【要配慮エリア】をできるだけ避け、芝生が元気なところを積極的に利用しましょう。

痛んだ芝生は1週間から10日ほどで回復します。芝生の回復促進のため、利用後は積極的に目土をしましょう。

冬芝(ライグラス)が順調に発育し、日に日に緑が増えています。PTA環境委員の種まき、目土作業により、中央の裸地ばくなっていたところもしっかりと芝生が生え始めています。校舎側は利用が多いため、緑が少ないですが、裸地などは無く問題ないでしょう。

校庭利用の参考

2022.11.25 (金) まで予定




<https://shibafu.jp/state/>




裸地(土が見えているところ)や芝生が傷んでいるところを繰り返し利用することで、芝生が育ちにくくなり、さらに裸地が増え、地面の凸凹が増え続けます。

裸地、地面の凸凹が増えることで、**転びやすくなったりして、ケガをしやすくなります。**


ケガを減らすのはもちろん、利用制限期間や養生期間をできるだけ減らすためにも、**芝生が元気なところを積極的に利用しましょう。**

 **利用推奨エリア**

繰り返し激しい運動をしても問題がないため、積極的な利用を推奨するエリア

 **利用推奨エリア(芝生が非常に元気なエリア)**

繰り返し激しい運動をしても問題がないため、積極的な利用を推奨するエリア

 **注意エリア**

繰り返し激しい運動などをできるだけ控えるとよいエリア

 **要配慮エリア**

繰り返し激しい運動をしたり、体操、集合場所にするのを避け、可能な限り利用を控えるとよいエリア